

(様式3)

事業所名 グループホーム つつじ

作成日: 平成 25年 5月 1日

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	○事業所と地域とのつきあい これまでは地域と交流する機会がほとんど無かった。	町内会主催の地域行事への参加や近くの保育園、小学校との交流機会を持つ。地域に認知症について理解を深めていただけるような交流を行なう。	町内会の防災訓練や盆踊り、老人会の行事等で地域交流させていただく。また、近所の保育園の園児や小学生と交流機会が持てるように、保育園や小学校の先生と連携を取らせていただき、企画を伝えた上で、交流内容を実現できるように対応していく。	12ヶ月
2	10	○運営に関して利用者、ご家族等意見の反映 利用者やご家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表明できる機会がなく、施設の運営に反映できていなかった。	利用者やご家族等が施設の運営について率直に意見を表すことができ、それが運営に反映できるように努める。	利用者やご家族の意見が吸い上げられるように、玄関に意見箱を設置する。ご家族が集まれる機会(仮称:ご家族会議)を立ち上げ、意見を聞き取る機会を作る。	6ヶ月
3	23 24 26	○思いや意向の把握 支援経過記録がなく、サービス担当者会議が未開催。 ○これまでの暮らしの把握 フェイスシートの定期的な更新がなかった。 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 介護計画の定期的な評価が行なわれていなかった。	ケアプラン作成時にサービス担当者会議を開催し、支援経過を記録することでケアプランの評価を定期的に行う。フェイスシートは定期的に更新する。	これまでのケアプランを早急に見直し、ご家族や居室担当者を交えたサービス担当者会議を開催する。適切なプラン内容をご利用者・ご家族に提供し、内容を職員とともに共有する。日々の記録の中でプラン実施状況を把握し、支援経過を記録し、フェイスシートを定期的に更新することで、職員間・ご家族で情報の共有が行なわれ、プランの評価も定期的を実施する。評価を次回作成のプランに反映させる。	12ヶ月
4	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 利用者の重度化や終末期についての指針が作成されておらず、利用者やご家族と話し合いがなされていなかった。また、地域の関係者とも協議がおこなわれておらず、支援方法について明確にしていない。	利用者の重度化や終末期の指針を利用者・ご家族・地域関係者と協議しながら策定し、関係者で共有する。	重度化や終末期について、施設として対応できることをご家族に示した上で、利用者、ご家族と話し合いを行い、地域関係者と協議した上で指針を策定させていただく。また、その指針についてご家族に説明させていただいた上で、書面にて同意を得る。	6ヶ月
5	35	○災害対策 災害対策については、年2回隣接のショートステイと合同で訓練を行なっているが、夜間想定訓練はしておらず、地域連携もできていない。また、非常食・備蓄水の確保は急務。	夜間想定訓練を実施する。非常食・備蓄水を確保する。	グループホームとしての夜間想定訓練を消防署の指導の下に実施する。非常食1日分の確保と備蓄水(クリクラ:1ボトル12リットル)の常時確保はすでに実施している。	3ヶ月

